

JP-U-5-1583 (Front Page)

(54){Name of the Invention} Structure of vehicular carpet

(57){Abstract}

[Object] To prevent eliminated water, which is generated in an evaporator of an air conditioning unit, from leaking from a drain hose by protecting the hose from passenger's feet and the like.

[Composition] A carpet 5, which covers a floor of a front passenger's area, has a protruded portion 8 that is formed to surround a drain hose 1 connecting an evaporator case 3 that encases an evaporator 2. With this, the drain hose 1 can be protected from the passenger's feet and the like. Accordingly, because the drain hose 1 is restricted from separating from the evaporator case 3, leakage of the eliminated water into a passenger compartment is suppressed.

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-1583

(43)公開日 平成5年(1993)1月14日

(51)Int.Cl.⁸

B 6 0 N 3/04

識別記号

庁内整理番号

A 8915-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-57823

(22)出願日 平成3年(1991)6月28日

(71)出願人 000002082

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(72)考案者 寺田 正宏

静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

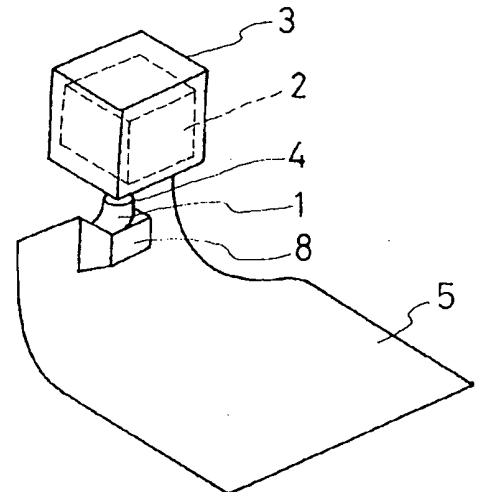
(74)代理人 弁理士 萆 経夫 (外2名)

(54)【考案の名称】 自動車用カーペット構造

(57)【要約】

【目的】 空調装置用エバポレータに生じた除湿水を排出するドレーンホースを乗員の足先等から保護することにより、除湿水の室内への漏水を防止する。

【構成】 前部乗員席のフロア上に敷くカーペット5に、エバポレータ2を収容するエバポレータケース3に連結されたドレーンホース1を全体的に囲むように形成したふくらみ部8を一体的に設ける。これにより、ドレーンホース1を乗員の足先等から保護でき、したがって、エバポレータケース3から外れることを防止できるので、除湿水の室内への漏水を防ぐことができる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 自動車の前部乗員席のフロア上に、その前方に配置された空調用エバポレータの下方に至るよう敷かれたカーペット構造において、前記カーペットに、前記エバポレータを収容するエバポレータケースに連結されたドレーンホースを囲むふくらみ部を形成したことを特徴とするカーペット構造。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の一実施例を示す斜視図である。

【図 2】 図 1 のカーペットのふくらみ部を示す要部拡大図である。

【図 3】 図 1 の縦断面図である。

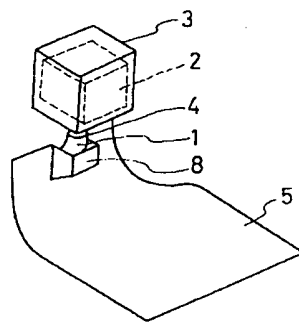
【図 4】 従来技術を示す斜視図である。

【図 5】 図 4 のカーペットのスリットを示す要部拡大図である。

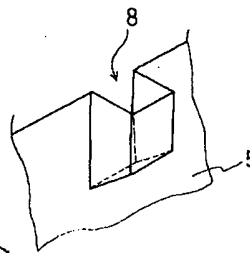
【符号の説明】

- 1 ドレーンホース
- 2 エバポレータ
- 3 エバポレータケース
- 4 排出口
- 5 カーペット
- 8 ふくらみ部
- 9 ガードプレート

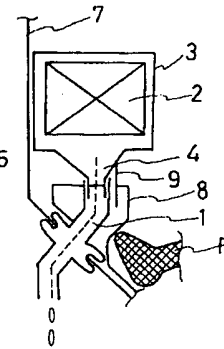
【図 1】



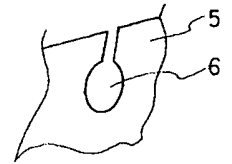
【図 2】



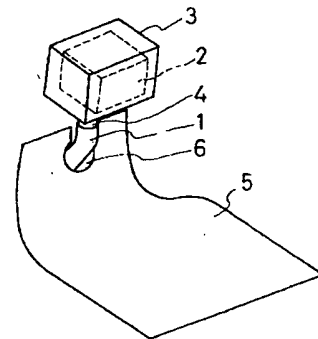
【図 3】



【図 5】



【図 4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、自動車の車室内フロアに敷くカーペット構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

自動車のフロア上、即ち、乗員の足元には車内の汚れ防止及び美観向上のためにカーペットが敷かれるのが一般的である。一方、助手席前方のダッシュパネル近傍には空調用エバポレータが配置されている（実開昭58-45121号公報等参照）。空調装置が運転されるとエバポレータの表面には除湿水が生じるため、この除湿水を車外に排出する必要がある。このため図4に示すように、ドレーンホース1がエバポレータ2を収納するエバポレータケース3に形成された排出口4に連結される。このドレーンホース1は前述のカーペット5と、更にフロア等を貫通して車外に導かれている。このため、カーペット5には、ドレーンホース1に対応する位置に、図5に示すような、ドレーンホース1を通すためのスリット6が形成されている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上記の構造においては、乗員の足先等がドレーンホースに直接接触することにより、ドレーンホースがエバポレータケースの排出口から外れて除湿水が室内に漏れ出る虞があった。また、カーペットのスリット両端をフロアに保持しなければならず、カーペットの組み付けが難しい。更に、スリットの外観不良のためその処置を施す必要がある等の問題があった。

【0004】

本考案は、上記問題に鑑みてなされたもので、乗員の足先等がドレーンホースに直接接触しないようにし、エバポレータの除湿水が乗員側に漏れ出ることを防止し、かつカーペットの組付性及びその外観を改善することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、上記課題を解決するための手段として、自動車の前部乗員席のフロア上に、その前方に配置された空調用エバポレータの下方に至るように敷かれたカーペット構造において、前記カーペットに、前記エバポレータを収容するエバポレータケースに連結されたドレーンホースを囲むふくらみ部を形成したことを特徴とする構成とした。

【0006】

【作用】

以上のように構成することにより、乗員の足先が直接ドレーンホースに接触することを、カーペットに形成されたドレーンホースを囲むふくらみ部によって防ぐことができるので、ドレーンホースが外れる恐れはない。又、カーペットにスリットを入れる必要がないので、組付性もよくかつその外観もよくすることができる。

【0007】

【実施例】

以下、本考案の一実施例を図1ないし図3にもとづいて説明する。なお、前出の図と同一の部材については同一の符号を付すものとする。

【0008】

図1において、助手席の前方には空調装置用エバポレータ2がエバポレータケース3に収容されて配設されている。図3においてより明らかなように、エバポレータケース3の下面にはエバポレータ2の表面に生じた除湿水を排出するための排出口4が設けられている。この排出口4に連結されたドレーンホース1は、車室とエンジンルームを仕切るダッシュボード7等を貫通して車外に導かれている。

【0009】

図1において示すように、助手席下のフロア上にはカーペット5がエバポレータ2の下方に至るまで敷き詰められている。そして、カーペット5のドレーンホース1と交差する部分には、図2に示すように助手席方向にふくらんだふくらみ部8が室内のドレーンホース1全体を囲むように一体的に形成され配置されている。

【0010】

図3において、9はガードプレートで、エバポレータケース3からカーペット5のふくらみ部8内に向けて垂設され、エバポレータケース3の排出口4とドレーンホース1との連結部を乗員の足先F等から保護するためのものである。尚、図1において、このガードプレートは見易くするために省略されている。

【0011】

以上のような構成において、空調装置が運転されるとエバポレータ2の表面に除湿水が生じる。この除湿水はエバポレータケース3に設けられた排出口4を介してドレーンホース1を通り車外に排出される。この時、例えば乗員の足先Fが何らかの拍子にドレーンホース1を蹴飛ばすような動作をしたとしても、ドレーンホース1はカーペット5のふくらみ部8によって保護されているため、足先Fが直接ドレーンホース1に触れることはなく、外れることもない。したがって、除湿水が車室内に洩れ入るようなことを完全に防止することができる。

【0012】

また、カーペット5はスリットのない一体形状であるため、剛性があり、外観も良好で、更に組付性もよい。

【0013】

【考案の効果】

以上の説明から明らかなように、ドレーンホース全体を、カーペットに一体的に設けたふくらみ部により囲むようにしたので、乗員の足先等がドレーンホースに直接接触することが防止でき、したがって、ドレーンホースが外れて除湿水が車室水に洩れ入ることも防止できる。これにより、車室内の快適性を保持することができる。また、従来のスリットがないので、カーペットの外観を改善することができる。また、加えて組付性が良いので作業能率を改善することができる。